

○ 平成 28 年度 第 4 回 『こどもの神経・筋疾患』 ○

講 師：広島大学病院 小児科 石川 暢恒 先生

実施日時：平成 28 年 10 月 12 日（水） 14：00～16：15

会 場：広島県東広島庁舎（西部東保健所）

対 象 者：神経・筋疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：25 名（家族 11 名、保健師 2 名、消防局 2 名、養護教諭 2 名、看護師 1 名、東広島職員 2 名、その他 5 名）こども 4 名 担当：西部東保健所

○講演内容

①難治性てんかんについて

滑脳症・ウエスト症候群・

レノックス・ガストー症候群

てんかんの原因、治療について

②結節性硬化症、ダンディ・ウオー

カー症候群について



災害対策について



講演の様子

○アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「神経・筋疾患に関心があり、情報が欲しかった」「職務上関わるお子さんがいる」

「こどもの病気と今後のことについて知りたかった」「同じ病気の子とも出会いたい、友達が欲しいと思った」「地元開催で同じ地域のご家族に会えるのではないかと思った」

<参加された方の感想>

「専門医から専門的なお話を聞くことが出来、とても勉強になった」

「様々な立場の方からの意見が参考になった」「ご家族の生活の具体的な話が聞けた」

「同じ症状の方と知り合えた」「悩んでいるのは自分だけではないと思った」

○相談員より一言

昨年反響が大きかった神経・筋疾患の交流会を今年も開催しました。保健所からの広報の効果で地域の子どもに関わる職種の方の参加も多くみられました。講演前に保健所スタッフより災害対策について準備物品の例を前にミニ講義をしていただきました。講演では昨年の内容に最新の治療や参加者の疾患も付け加え分かりやすく説明していただきました。小児科の専門医の話を聞く機会の少ない関係者には貴重な機会となりました。

交流会はご家族と関係者 2 グループに分けて行い、他のご家族の具体的なお話や他職種同士の意見交換など大変参考になったとの声を頂きました。会終了後ご家族が連絡先を交換している姿も見られ、同じ立場の方同士繋がりが出来たことに会を催した意義を感じる事が出来ました。

